

江北町

議会だより

No.147

平成30年
6月定例会

平成30(2018)年8月1日発行



自然と調和がとれた江北町の産業風景



7月は、社会を明るくする運動強調月間です。
ひまわりの花のように地域に皆様のあたたかい
まなざしをお願いします。

CONTENTS

- 一般質問
- 一般会計予算
- 各常任委員会
- 条例改正
- 江北さんいらっしゃい
- 編集後記



三吉紀美子 議員



公園遊具の点検後の対応は

町長 早急に発注し着手する

議員 12月議会質問後の行政としての対応は。

政策課長 平成30年度当初予算に遊具劣化診断の委託料を計上し、建設課で手続きを進めている。診断の結果後各区分と話し合い、撤去が必要と判断されたら、9月補正で撤去費を計上したいと考えている。

議員 全国で老朽化による骨折事故等が多発している。安全の為、早急な対応として区長会に相談されたのか。



早急な対応を

町長 6月に実施を予定し結果が出て対応がきちんとしていた上で各区分

に手続きをお願いしたいと考えている。

議員 子ども達が安心して遊べる居場所づくり、環境づくりのため議員、町民の声を真摯に受け止めて早急な対応を強く願っているが。

町長 対応も検討し、予算も準備し事業実施予定で4月以降はいつでも着手できるのに発注していない。質問を契機に早急に発注し事業の着手をしていきたい。

公共施設の使用料の再考は

町長 来年度に提案したい

議員 他町を調べてからの答弁の結果は。

こども教育課長 全町調査した。減免自治体が多数だった。

行政改革から15年経過している。施設使用

料についても見直す時期という事で、他市町、本町の状況を考慮し検討している。

町長 必要があれば来年度当初提案をしたい。それまで時間を頂きたい。

議員 白石町では使用料、冷暖房費全額減免。老人会、PTA、食改も地域に根ざした活動は地域住民のためである。この同じ思いで共に歩いて欲しい。来年3月を期待している。

小道から町道へ出る危険場所の対策は

町長 対策をとる体制を整えていく

議員 小道から町道へ出る危険箇所10箇所程度新年度予算計上との回答だったが。

建設課長 通学路合同点検で対応が必要な14箇所の内6箇所は昨

年対応済み。今年度5箇所、残り3箇所は31年度以降の予定としている。

議員 危険箇所の解消工法は。

建設課長 歩道に車の進入を防ぐため、道路鉞、横断歩道安全のための路面標示、ポール設置、カラー舗装、ガードパイプによる危険度の軽減を図っている。

町長 町内2社のタクシー会社に出向き、聞き取り調査で10箇所指摘を受けた。危険箇所については情報をつかみきちんと反応し、対策をとる体制をとってきたい。

議員 危険、不備点の声が届いたら区長会と協議し、いち早く危険度は解消して欲しい。

高校生までの医療費の助成を！

町長 実施できるよ

う研究していく

議員 医療費助成は中学生まで実施してもらっているが、更なる充実で高校生まで対象年齢を拡大できないか。

太良町、大町町は助成されている。町長の新時代を開く未来政策「子育て、教育ダントツ宣言」に町民の方は大いに期待を寄せている。

既に給食費無料化実施で保護者からの感謝の声が届いて私まで大変嬉しく思っている。

町長 ふるさと納税、給食費完全無料化、健康ポイント制度等公約実現してきているが、高校生までの医療費助成については、町としての所要額も合わせて財源と一緒に議論した上で実施できるよ研究していく。

どみぶあしほかつ
土淵茂勝

議員



町立保育園の存続を求める

町長 民間でもその責任を果たせる



保育園がある幼児教育センター

議員 保育は町が責任を持って進める福祉事業の柱であり、子育て支援の柱だ。民間が経営する保育事業の基準ともなり、安全を保障する役割を果たせるものだ。町立保育園を廃止する理由と目的は。

町長 今回、町内において民間保育所建設の動きが出て来た。この動きを踏まえて、潜在的課題である業務委託という運営方式で行っていた町立保育園の在り方を見直すもの。

議員 児童福祉法二十四条の二項は、町の保育実施責任を明確にしている。それについてどう認識されているのか。

町長 公立の保育園を自ら運営しなければその責務が果しえないという事ではない。民間の保育園であっても、その認可、指導、補助また支援を通して責任を果たすことができると認識している。

小規模保育所（なのはな）を
本来の保育施設に戻すべきだ

町長 今後の在り方については、検討していく

議員 昨年の4月1日

から、ゼロ歳から2歳までを対象にした小規模保育所（なのはな）が定数19人で設置され、待機児童対策として一定の効果を発揮した。

議員 基準を満たしているとの事だが、保育の現状としては、幼児にも保育士にとっても使い勝手の悪いものとなっている。本来の保育園に戻すべきだと考える。

その点からも、江北保育を廃止するのではなく、充実すべきだ。

町長 先ずは、待機児童の解消という事で、制度上認められている小規模保育所の開設という対策をとっ

た。

利用者の方、保育に従事している方から声を聞かしていただいているが、指摘のようなことはない。

この間も必要な設備

の確保、施設の対策とすることは改善を行ってきた。小規模保育所そのものがよくないという認識は改めていただきたい。

その上で、小規模保育所の今後の在り方について、これからの町全体の保育サービスの需要量、供給量を見ながら、その継続については検討していく必要がある。



小規模保育所・なのはな

安全で安心なまちづくり 子どもの安全対策



池田和幸
議員

町長 危険が迫っているという認識のもと、具体的かつ実効性のある対策をし、安全性をきちんと確保していく

議員 5月7日、新潟県で7歳女児が電車にひかれる事故が発生した。1週間後、近所に住む男が逮捕されたが、事件現場周辺には5人も不審者が今も放置されている状況です。そこでこの事件以降、子ども安全対策で取り組まれていることは。

子ども教育課長 学校では、担任の先生が登下校の注意喚起をなされた。町内でも声掛け事故が発生したので、各児童に校内放送で注意喚起を行い、防犯ブザーの携帯確認、一人での行動・寄り道しない、帰宅時間を守る等の指導がなされた。

議員 県が公表している29年中の発生状況は声掛けが116件、つきまといが47件で、15時から18時までの間で、共に半数以上あり、下校中の時間帯に発生している。通学途中での日頃の安全対策の取り組みは。

子ども教育課長 犯罪被害に遭わないよう行動の指導、防犯ブザーの電池点検や作動確認を行っている。地域での見守りは、ビツキー隊やシルバー隊で行っている。

議員 子どもが助けを求める「子ども110番の家」の看板やステッカー等の掲示の状況は。

子ども教育課長 掲示は139箇所、確認を行い新設、交換をしている。

議員 今後も小中学生への対応が必要だが。

子ども教育課長 危険が迫っていると認識のもと、具体的かつ実効性のある対策をし、安全性をきちんと確保していく。

防犯活動の推進

町長 町民の方や各種団体等が自主的に活動を協力していただいている

議員 自主的な防犯活動に対する援助とは。

総務課長 町内の各種団体等が自主的に活動する場合に町が協力をしていく。

議員 防犯推進協議会は昨年、何回開催されたのか。協議の内容は。

総務課長 1回の開催で、防犯条例の説明と白石署からの防犯状況の説明があった。

議員 新潟の事件以降の開催は。

総務課長 7月に開催予定だったのでしていない。

議員 大きな事件の後での開催が必要では。

総務課長 早急に開催すべきであったと思う。

犯罪防止に配慮した整備

町長 必要な対策は町としてやりたい

議員 平成29年中の町での刑法犯の認知件数は35件であり、減少しているが、今年4月までの県内での犯罪率は、人口比率で前年の17位から4位と増加している。県の条例では、防犯カメラの適正な運用が記載されている。白石地区防犯協会でも、事業費で防犯カメラ設置補助費が計上されているが、その説



明を。

総務課長 大町・白石・江北3町で均等に配分される。また区長会で説明をし、希望調査を行っている。

議員 問い合わせがなくても、設置する必要があると思うが。

町長 補助金の要望が各区よりなくても、別の対策をとりたい。町で設置する必要があるかを考えていく。

議員 是非、防犯カメラの設置をして頂きたい。

町長 区長会での募集状況を見た上で、必要な対策は町としてやりたい。

かねまる ゆうき
金丸 祐樹

議員



住環境の改善について

町長 新しい目線、今どきの視点で点検をする必要があると思う



離合時、蓋から騒音



劣化による段差

町道上惣く新宿線の側溝について

議員 側溝の蓋の老朽化で騒音・泥の詰まり等が発生し町民の安心・安全が確保できていない。又、現場打ちの古い側溝のため、蓋の取り外しは容易でなく、劣化により段差があり危険だ。改善対策は。

建設課長 騒音・泥の詰まり等の箇所については、現場の確認をする。

町長 町全体で確認をしていかなければならないし、基本的な考え方としては、区の地域の維持管理の中でお願いできればと思うが、お願いするにあたっては区で維持管理ができるような施設になっておくのが前提だと思う。今後やりかえをするということであれば、区で維持管理ができるような構造にやりかえる必要があると思う。

道路の再点検と今後の課題について

議員 道路の再点検も住環境の改善と考えており、町道城ノ井樋く東分線・畑川く南郷線の二ヶ所を取り上げている。前者の入口には長い横断歩道があり、通学路にもなっている。



畑川～南郷線の三叉路



危険が高い横断歩道

1分毎に60台ほどの車両が通っており、右折左折が頻繁で車両を待たせて走って通学する児童生徒が多数いる状況だ。安全対策は。

建設課長 警察との協議が必要と考えており、地元地区とも話をしたい。

町長 直感はやはり信

号設置が一番良いと思う。しかし、いろんな面も踏まえて議論が必要になってくるので警察に強くお願いをする必要がある。今後この交差点部の安全対策はきちんと対策をさせていただく。

議員 後者についてだが、三叉路付近での見通しも悪く、一旦停止の規制もない。また、道路の白線も消えかかっており、このままでは交通事故を招かざるを得ない状況だ。対応策は。

町長 おかげさまで先輩達、先人の方たちが、バイパスの整備や、大きな町道の整備を成されてきた中で民間が主導したいろんな開発がここまで進んだ。その上で、これだけ都市化をしている、または町外からたくさんの方が住んでもらっていると

いうときに、安心・安全な生活基盤まで今整備ができていくかどうかを考えると反省するところがある。本当に安全が確保できているのかということ、きちんと新しい目線、今どきの視点で総合的に二丁への対応をする必要があると思っ

議員 総合的に町のニーズに対応をしていただけるということで期待をしている。住環境の改善は、子や孫に誇れる江北町を目指す上で本当に大事なことで、町民の方々、行政の方々、町民の奉仕者である我々議員の三位一体でよりよい江北町の未来を手繰り寄せていきたい。

中学校の道徳教科化への対応



ふちかみまさひろ
議 員

教育長 教育委員会として、学校が主体的姿勢で前向きに指導に臨めるよう、できる支援を行いたい

議員 教科外から教科に格上げされた主な背景は何か。また、教科となつてどのように授業内容が変わるのか。
子ども教育課長 背景としては、いじめ問題等への対応がある。現在行われている道徳教育は指導内容や指導方法に関し、学校や教員によつて充実度に差があることも挙げられる。道徳の教材を抜本的に充実するとともに、道徳の特性を踏まえた新たな枠組みにより教科化し、指導内容を充実し、効果的な指導方法を明確化することを目指している。また、授業内容が変わつた主なものは二つある。一点目は、文部科学省の検定に合格した道徳の教科書が使用されること。二点目は、他の教科と評価の方法は違つが、評価が必要になること。

議員 道徳が教科になると、評価が気になつたり、本音が言えなくなつたりして息苦しい学校生活にならないかと心配されるが、評価する事柄や評価の方法はどのようなものか。
子ども教育課長 学習の状況や道徳性において成長したところを文章で示すもので、子どもの良い点を褒めたり、更なる改善が望まれる点を指摘したりするなど、子どもの発達段階に応じて励ましていく評価であり、数値で評価するものではない。
また、評価の方法は、授業中の発言、友達との話し合いの様子、記述したノートやワークシートの内容、自己評価等を参考にしながら、子どもの伸びた面を中心に記述するものである。
議員 高校入試の際にこの評価（調査書）が対象にならないか。

子ども教育課長 道徳における学習状況や道徳性にかかわる成長の把握は、各教科の評定とは基本的な性格が異なることから、調査書に記載せず、入学者選抜の可否判定には活用されない。
議員 教育長は、生徒の道徳教育をどのように進めていかれるのか。
教育長 学校長がリーダーシップを発揮し、生徒や学校の実態に応じた魅力ある授業を実践されることを期待している。当然、教育委員会としても、学校が主体的姿勢で前向きに指導に臨めるよう、できる支援を行いたい。また、子どもたちの道徳教育については、学校ですること、それから地域や保護者の方にお願いをすることもあるので、そのときはぜひご協力をお願いしたい。

再度問う、JR長崎本線橋梁付近の堤防高不足等に対する防災対策

町長 JR九州にもご協力、ご理解をいただき、国で早期の事業化をお願いしたいと思つている

議員 昨年の江北町防災会議において、委員から土のうを積み上げるのに要する時間を把握するための訓練を要望されているが、その結果はどうだったのか。また、そのことを踏まえて、本町としてどのような対応をしたか。

総務課長 要望に対し、武雄河川事務所所長は、事務所に持ち帰り検討するとのことであったが、JR九州の了解が得られず、訓練は実施されていない。理由として、土のうを積むことでJR九州橋及び線路へ及ぼす影響が懸念されるためとのこと。

議員 これからもJR九州及び国に強く要



積土のうの状況



JR長崎本線六角川橋梁付近(大西)

老朽化が進む公共施設、 改修整備の優先順位は



井上敏文
いのうえとしふみ
議員

町長 今年度中に方向性を示し、来年度から事業を実施したい

議員 本町の主な公共施設は、築後30年以上経過しているものが多く、今後は次々に大規模な改修や建て替えの時期を迎える。町では昨年4月に「江北町公共施設等管理計画」を策定しているが、その内容は「検討する」など抽象的な表現にとどまっている。現在、急速に老朽化が進むなか、施設の改修等については具体的に進めるべきではないかと考える。この施設整備計画について、今後どのように取り組まれるのか。また、昨年12月議会ですchool校舎の整備について質問した時、町長は「学校施設のみならず社会教育施設についても平成29年度中に一定の方針を出す」と答弁されたが、その結果は。

町長 公共施設の総合管理計画を作つては



今年度中に大規模改修か建て替えかの方針が示される小学校校舎

いるものの、道路以外はできていないのが現状である。人口も将来的には減っていくし、本町の将来を見据えた具体的な計画が必要と考える。今年度中には施設全体の今後の在り方についてきちんと示したい。昨年度中に策定するとした教育施設についてできなかったことをお詫びするとともに、各施設の整備計画の個別の計画についても、もう少し時間をいただきたい。

議員 町の公共施設等総合管理計画によると、この40年間のうちに予算の平準化を考えると、毎年更新するとすると建物の更新費用及び、道路、下水道等インフラ整備、併せて年平均約11億円の施設整備費が必要となる。施設整備が集中するこの10年間を予測し、施設の更新順位はどの様に考えているのか。

町長 現時点で順位はつけていないが、少な

くとも教育施設については今年度中に方向性を示し、来年度から事業を実施したい。庁舎についても防災及び、住民の利便性の観点から今年度中に方針を出したい。

駅南「みんなの公園」について

町長 民間の発想を活用しながら運営していく

議員 町の中央に公園が必要との声が多い中、今、山田町長の目玉事業として進められているのが「みんなの公園」事業である。基本計画によると、都市型の公園をイメージされており、この公園内の駐車台数はわずか

と聞いた。以前、町長はイオンの従業員駐車場の一部を相談していたと言われたが、その後の協議は。

町長 町が公園東側の水路敷を利用して公園内の駐車場を確保した上で商業施設の駐車場にも協力いただきたいと思つている。

議員 基本計画では、屋内は喫茶などでくつろげる空間、屋外は開放的なテラス、中央には芝生広場が計画されている。この公園の工事費として約4億円が見込まれているがかなりの工事費である。維持管理費も相当かかると思うが、この管理は指定管理方式なのか。

町長 必ずしも管理を業者に委託する指定管理というのではなく、喫茶、あるいは物品販売店などに貸し出すなど、民間のいろんな発想を活用した運営方法を考えている。

総務常任委員会

問 コピー機だが、当初予算に計上していないのは何故か。

総務課長 平成29年の5月でリース契約が満了。あと二年使う予定をしていたが印刷が上手くいかず事務に支障をきたす為、補正でお願いをしている。

問 印刷機はないのか。

総務課長 今回転写機になる。

問 宿日直委託料だが、人件費は、当初予算でよかったのでは。

政策課長 18年間据え置きのため、処遇改善で単価を上げるというところの補正。

問 マイクロバス運転手の勤務採用は。

総務課長 委託契約。利用者の申請で

10日前までにお願いをする形をとっている。現在2名体制。

問 クラブリーオンで350万円の事業費が出ている。流鏝馬など昔の伝承をされていいことだが、体験プログラム場所は。

政策課長補佐 練習場は、6月に土地整備、トイレ、更衣室はクラブリーの敷地内。

イベントで子供流鏝馬教室を8月にして、実際に天子社での流鏝馬を行う。

問 コミュニティー助成事業、100万円の中身の説明を。

政策課長 平成30年度については、西分地区の公民館等の備品の整備となっている。県から内示が来ており、6月で補正計上した。

問 他の地区からの要望は出ているか。

政策課長 申請は、4件。順位については、

精査して決めている。
問 助成金について区長会で説明をしているのか。

政策課長 区長会で募集をかけている。平成29年度中に募集し、平成30年度にあけて、3月末の交付決定後、6月の補正という形。

問 国内子供交流団、江北小学校を具体的に。

政策課長 羽田空港から、マイクロバスを利用し都内を移動する。

最終口(二丁目) については羽田空港まで公共交通機関を利用する。

問 市町村導入促進基本計画はしているか。

産業課長 6月5日、九州産業省の説明があり、今計画策定に向けて作業を進めている。

問 老人クラブが

30から31クラブに増えたのは。
福祉課長 仲町と浪花が分かれた為。

問 放課後児童クラブ加入の子どもの数が増えたという事で、小学校の空き教室を提案されているが、現状は。

こども教育課長 登録者数が150名。平日通常、127名。夏休みになると4教室から2教室の利用見込みになるので、127名を超えることは無いと思われる。

問 部活動指導員活用研究事業の配置は。

こども教育課長 各部分代で週2時間程度、スポーツ医・科学を取り入れたトレーニング法を学び、複数の教員の業務負担軽減を目指す、県の研究事業。

問 町育英資金貸付基金の運用状況は。

こども教育課長 原資が2千925万3千572円。

平成29年度末で貸付中が2名で、返還中が19名。



みんなの公園（仮称）の駐車場現地確認



町道江北～大町線 畑川水路災害現場

産業常任委員会

ふるさと納税事業

問 車両広告は首都圏と博多か。期間は。

産業課長 車両広告は首都圏のみで25車輛。期間は1年間である。また、博多と首都圏ではポケットティッシュの配布を考えている。

みんなの公園事業

問 工事請負費1億480万ほどになっているが、30年度はどのような工事が。

建設課係長 造成・土の切り盛り及び建築の基礎工事と雨水排水も含め側溝整備まで見込んでいる。

問 みんなの公園ができるのを契機に、町内の交通網関係と連携して検討を。

建設課課長補佐 利用

促進を図る上で、交通の便も検討していく。

駅南地区道路改築事業

問 駅南地区東西線道路改築事業があがっているが、下水道と連携して業務をおこなってもらいたい。

建設課係長 財源を過疎で予定しており、平成32年度を目途に舗装まで行いたい。幅員4.5mでつくっていく。途中で宅地が張り付いた場合下水が対応できないことがあつてはならないので連携しながら進めていく。

下水道事業

問 クリーンセンターの流量調整槽を新たに作るその目的は。

環境課長 当初処理場は6系列で計画されていた。人口や汚水量の見直しで4系列に変更その一方で東分中継ポンプ場は、6系列の処理能力となっており、

センターに送られる汚水の量が多く処理が追いつかない状況。汚水の流量調整を図り処理水質を安定させる目的で建設する。

条例改正

一、江北町税条例の一部を改正する条例（中小企業・小規模事業者が先端設備などを導入した場合、固定資産税を3年間減免するもの）

全云致

一、江北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（支援員を確保しやすくするため中卒でも資格をとれるようにするもの等）

全云致

一、江北町水道事業給水条例の一部を改正する条例（水道料金の引き下げ）

全云致

専決処分

一、江北町税条例の一部を改正する条例の専決処分（①法人町民税の延滞金改正②新築住宅に係る固定資産税額の減額措置が2年間延長③土地に係る課税標準額の負担調整措置が3年間延長）

全云致

一、江北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分（①国民健康保険税で、医療分の課税限度額が4万円引き上げられ、これに伴い、課税限度額が89万円から93万円とアップする。②軽減判定所得の2割軽減対象額が49万円から50万円に、5割軽減が27万円から27万5千円に引き上げられ、軽減対象が若干広がる。）

賛成多数

意見書

一、教職員定数改善と義務教育費国庫負担

制度2分の1復元をはかるための2019年度政府予算に係る意見書

全云致



メッセージカードに町への想いを書き込む



肥前佐賀幕末維新博覧会 視察

江北さんいらっしゃい!!

江北少年剣道クラブ



江北少年剣道クラブ の紹介

道場に入ると「こんにちはー」の大きな子供たちの声!!

礼儀を重んじ質実剛健

をモットーに日々鍛錬をしている江北少年剣道クラブを紹介します。

現在の部員数は、小学生18名、中学生11名、幼児3名(内女性剣士8名)です。練習時間は月曜から金曜日までは午後5時から7時。土曜日は、午前7時から9時。

昨年度は、剣道の聖地である日本武道館で全国大会。パート優勝を果たされました。今年五月には、開成少年剣道大会において優勝し、その活躍は目を見張るほどです。少年・少女剣士たちの覇気のある掛け声が道場内に響き渡っていました。江北少年剣道クラブの今後のご活躍をお祈りしています。

編集後記

昔の田植えは、重労働であり、家族の労働力では乗り切ることができず、雇用労働力を用いたり、親類や近隣で助け合ったりしながら行っていた。また、田植えの中心的な担い手は女性たちであり、男性は苗代での苗取りや苗運び、本田での代かきなどに従事した。

農家の長い間の夢であった田植機が導入されたのが、昭和40年代中頃、この田植機の登場によって農家を重労働から解放する大きな効果をもたらした。

(測上)

広報委員

- 三苫 紀美子
- 土測 茂勝
- 測上 正昭
- 金丸 祐樹